



災害発生、そのときどうする？

28.9.12
杉並区広報課

「すぎなみ ちょこっトーク」を開催しました

9月11日（日）無作為抽出で選ばれた区民が「災害」について意見交換を行う「すぎなみ ちょこっトーク ～みんなで話す すぎなみの未来～」を開催しました。

区では、平成24年3月に策定した杉並区基本構想（10年ビジョン）の実現に向けて、総合計画・実行計画を策定し、その推進に努めてきました。今年度は実行計画の改定の年にあたり、現在、計画の改正案を公表し、その内容について区民の意見募集を行っています。

こうした中、区は基本構想及び総合計画・実行計画の達成度や進捗状況を区民に報告し、その意見を区政に反映させることを目的に、基本構想実現のための区民懇談会「すぎなみ ちょこっトーク～みんなで話す すぎなみの未来～」を開催しました。今年度の懇談会は、昨年度に引き続き無作為抽出された1500名の区民の中から参加希望のあった方を対象に行いました。



当日は19歳から86歳の37名（男性12名、女性25名）が、ファシリテーターの進行によって意見交換を行いました。「災害発生、そのときどうする？」をテーマに、防災・減災に関して日頃からの備えや地域防災力、区に求めることなどについて活発な意見交換が行われました。参加者からは「備蓄品を日頃から備えることや、普段からの近所付き合いの大切さ」、「杉並区の人口を考えると避難所の数が不安」といった意見が出されました。



また、全体の振り返りの後、明治大学の牛山久仁彦教授から講評をいただき、「区民と行政がよく話し合い、地域防災力を高め、災害に強い防災まちづくりをすることが重要。」とのご意見をいただきました。

今回いただいたご意見は、実行計画改定の参考とさせていただくほか、今後の区政運営の参考とし、引き続き基本構想の実現に向けて取り組んでいきます。

【問い合わせ先】

政策経営部企画課 TEL: 3312-2111 内線1414・1415